



ハイ! スクール通信
High School communication
- 市内高校通信 - Vol.24



岱志高校、有明高校、荒尾支援学校の市内3つの高校の取り組みや学生たちの様子などをお届けします。地元高校の新たな魅力の発見につながるかも!?

有明高校

Topic1

創立60周年を迎えました

その記念事業として、新たに体育館を建設します。いよいよ始まる工事を前に地鎮祭を行いました。

完成まではもうしばらくかかりますが、これから体育の授業だけでなく、多くの行事やクラブ活動で充実した学校生活の中心となってくれると思います。



Topic2

学生たちによるコロナ対策

本校の機械科と、ものづくり同好会が共同でアルコール消毒用スタンドを製作しました。足踏み式で気軽に消毒ができる優れものです。

このスタンドは、機械科の実習機材と技術を活用しているため、材料費のみで作ることができました。玄関や保健室、図書室など多くの生徒が使う場所に設置しています。



岱志高校

岱志高校「Niji Project」が始動しました!



「高校生が地域を盛り上げ活性化させるためにできることは何か?」をコンセプトに、高校生の力で地域を元気にする「Niji Project」に取り組んでいます。

今回、紹介するのは体育祭で展示したパネル画です。コロナ禍でも困難に負けず頑張っていこう!という医療従事者や地域の皆さんへのメッセージを込めて、水泳の池江璃花子選手とネバーギブアップというメッセージの2枚を描きました。制作したのは美術部と書道部の生徒たち20人。2週間ほどで高さ3メートル、幅4メートルの作品を描き上げました。

8月末まであおシティモールのであいの広場に展示中ですので、是非ご覧になってください!



6/21

医療従事者へ感謝を込めて ~コカ・コーラドリンクチケット寄贈~

荒尾市医師会長 浅田市長
池松支店長 鴻江



コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社からドリンクチケットが寄贈されました。

これは、新型コロナウイルスワクチン集団接種事業に携わる医療従事者への感謝の意を込めて寄贈されたものです。

また、接種会場に設置された自動販売機の売り上げの一部は荒尾市医師会へ寄付されます。

浅田市長は「大変ありがたい。最前線でコロナと闘う医療従事者の皆さんのために活用したい」と感謝の言葉を述べました。

6/16

大人になったら投票に行くために ~桜山小学校で選挙出前講座~

実際の選挙で使用している記載台や投票箱を用いて投票を体験



選挙管理委員会は、選挙をもっと身近に感じてもらうため、桜山小6年生を対象に出前講座を開催しました。子どもたちは選挙の仕組みについて講義を受けた後、実際に投票を体験しました。模擬選挙では、架空の桜山市長選挙を実施。候補者役となった先生の演説を聞いて、誰に投票するか自分で考え、貴重な1票を投じました。

参加した猿渡勇雅さんは、「荒尾市の投票率が低いと知ってショックだった。18歳になったら投票に行こうと思った。」と話しました。

地域の活動 掲示板

平井地区ホタルの里看板設置

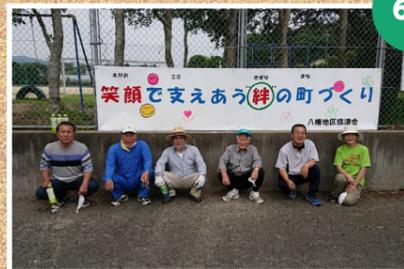
5/30



平井地区協議会

手作りによるキャッチフレーズ看板設置

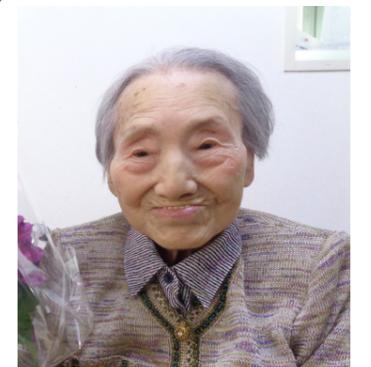
6/5



八幡地区協議会



100歳
おめでとうございます



村上ハナエさん (辻町)

6月22日に100歳の誕生日を迎えられました。結婚前は三池炭鉱三川坑に勤務し、結婚後も4人の子供を育てながら、石炭の品質を調査する仕事をしていました。定年退職後は、日本舞踊やお花、着付け等の勉強を行い、着付けの資格を取得しました。ご家族は「明るい性格で何事もよくよしないことが長寿の秘訣です。」と話されていました。